いのちと健康ニュース　NO．24

１９９２年　９月１５日

愛知働くもののいのちと健康を守るセンター
名古屋市中区平和二丁目２番３号
高齢者労働会館５Ｆ　TEL FAX　052-322-0406

８／２９～３０　犬山市「犬山館」にて

『第3回　いのちと健康を守る学校』開催

延べ　５３名が熱心に聴講参加、

好評をうけている「第3回いのちと健康を守る学校」が、８／２９～３０犬山市の「犬山館」で開催されました。

第１講義は、先回の健康大学で講義された愛知県保険医協会の徳田秋先生がお話されました。　「私たちの健康問題と労働・生活」と題して、具体的な病気の特徴とその予防法についてわかりやすく話され、健康と労働（仕事）・生活との関わりから健康であることの意義をわかりやすく解明されました。

（聴講者の感想）

◆　成人病についての考え方や、予防の重要性、また健康が大切ということであるが、健康が目的ではなく、健康で何をやりたいのか目的をもっていくことの重要性が理解できた。　（42才　公務員）

◆　病気が労働（仕事）と大きくかかわっていることがよく理解できた。

（51才　運転手）

第２講義では、やはり健康大学で講義された名古屋大学付属病院精神科の剱田裕平先生が「働くもののメンタルヘルス」と題してお話されました。

仕事上から精神的に負けて自殺まで行く痛ましいケースなど、現代を生き抜くためのメンタルヘルス（心の健康）をどうとりくむか、ユーモアを交えながらわかりやすく解明されました。

（聴講者の感想）

◆　自分でも気が付いてないうちに「タイプＡ人間」に仕立てられていたことに気付きました。「非まじめ」のすすめを地でいきたいと思います。

（23才　事務労働者）

講演では、名古屋大学医学部公衆衛生学の山田信也先生が「仕事と健康を考える」と題してお話されました。

（聴講者の感想）

◆　山田先生のお話は、大変印象深くまた、今後の方向を示していただき、有難いと思っています。

自家営業者は、過労死で死んでも、仕事が打ち切られても何の保障もなく、まさにヤミからヤミへ消え去られていく存在となっています。

今の時代に勇気をもって発言すること、今まで黙っていた下請け業者・小売業者が労働者と一緒になって発言すること、圧倒的多数の零細業者とそこで働く未組織労働者が生きていくために、権利として物を言うことの大切さを学びました。有り難う御座居ました。　（50才　団体事務局員）

◆　病気には社会的治療というものがあること、過労死については企業責任など明確にし、労働組合の役割を広げる必要を感じた。　（42才　自治体労働者）

愛知働くものの
いのちと健康を守るセンター

第２回総会 開催

『第３回いのちと健康を守る学校』終了後、午前１１時から「愛知健康センター第２回総会」を大山館にて開催しました。参加は、２１団体・４６名でした。

総会は、議長に国労愛知県支部の神藤委員長を選出し、活動報告、決算報告を承認第２年度の事業活動計画、予算、事業内容の構想、申し合わせ事項の改正など、一括提案・討論し、原案どうり採択しました。

新役員は代表理事（４名）に、山田信也（健康問題研究会）寺原東四郎（愛労連）水野幹男（自由法曹団）加藤瑠美子（愛労連）を選出、理事（１７名）には、長谷川恭雄（新聞労連）神藤常晴（国労県支部）伊豆原直（自治労連）西本吉弘（医労連）堀口修（名高教）寺島勝治（全損保）吉山芳春（建設一般）山崎富紀夫（名南労連）永井和彦（愛労連）佐々木昭三（健康問題研究会）佐久間信司（自由法曹団）宮崎修一（愛高教）樗松佐一（名勤生協労組）吉川正春（名水労）近藤直太（健康と家庭を守る会）加藤孝夫（民医連）池内勝（愛商連）の方々を選出し、２年目のスタートをきりました。

参加の労働組合・民主団体の一層の御協力をお願いいたします。

お知らせ

第2回労働安全衛生活動学習交流会

10/3～4 労働者研修センターにて

職場での労働安全衛生活動は、長時間過密労働をなくし労働者のいのちと健康を守るうえでも欠くことのできない大切な労働組合の課題です。

企業サイドの運動でなく労働者の守り手としての運動にしなければなりません。

活動の基本を学習し、交流をするため労働組合の活動家、担当者、関心のある方の、ご参加をお願いいたします。

日時　10月 3日（土）14:30 開会
　　10月 4日（日）12:00 閉会
場所　愛知県労働者研修センター
　　（JR中央線「定光寺」下車）
　　マイクロバスの送迎あり
　　TEL:0561-48-2611
参加費（資料代含む）
　　10.000円（ 1泊 2食 ）
泊りなし参加（資料代含む）
　　3.000 円

申込み期限　9月25日

ＴＥＬまたはＦＡＸで氏名と所属団体名を登録して下さい。参加費は、当日受付でお受けします。
健康センターＴＥＬ・ＦＡＸ
０５２－３２２－０４０６

～～～

愛知健康センター第２年度事業活動計画

（1992.8.30　第２回総会で承認）

１．職場の活動家・専門家養成と職場活動を推進します。
　①　第２回　労働安全衛生活動学習交流会（10/3～4 ）
　②　第４回　人間らしく生き働くための愛知集会（'93.1/23）
　③　第２期　いのちと健康大学の開催　（'93.2/～6/ ）
　④　第４回　いのちと健康学校（第３回総会も合わせて開催）（'93.7/ ）
　⑤　地域での学習会・講座の開催などを具体化します。
　⑥「いのちと健康を守る活動の手引き」（仮称）を発行します。
　⑦「職場の安全衛生活動の手引き」（仮称）の発行の準備をすすめます。

２．情報収集、調査、研究活動を推進します。
　①「労働安全衛生実施」調査の集約・分析にとりくみます。
　②「在職者長期療養者、死亡者調査」を具体化します。

３．職場、地域でいのちと健康にかかわる世話役的相談活動をすすめるようにします。

４．労災認定・労災裁判支援のとりくみをすすめます。
　①　大同特殊鋼過労死労災認定のとりくみ
　②　山内過労死裁判を支援する会のとりくみ
　③　名古屋過労死を考える会

５．愛知労働問題研究所が主催する「日本・ドイツ労働問題共同セミナー」への参加をはじめ国際連帯・交流活動をすすめます。
　セミナーは、９／２０（日）～２１（月）名大病院内「鶴友会館」２F

６．弁護士、医学者・医師などの専門家の人たちとの共同のとりくみをつよめます。

７．学習会・調査活動などで労働組合との共同をすすめるとともに、組織拡大をすすめます。

８．ひきつづき「いのちと健康ニュース」を発行します。

９．規約（案）の作成をはじめとした組織的整備をおこないます。

以上